

人民元週間レポート

2026年7月31日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO

瑞穗銀行

【人民元為替概況】

回顧: USDCNYはFOMC会合を経て週後半にかけてドル安が進行、JPYCNYは為替介入を実施したとみられる動きから急騰

- ドル人民元(USDCNY)は27日、6.76台半ばでオープン。米国とイランが紛争終結に向け外交協議を進めているとの報道を受けてドル安が進行する中、海外時間にかけて下げ幅を拡大する展開となり6.7625でクローズ。28日は序盤からドル買い優勢の展開となり6.77台前半まで上昇。その後米国時間には、米7月消費者信頼感指数が市場予想を下回る内容だったことが嫌気され、ドル売りが入り6.76台後半まで下落。引けにかけてはやや値を戻し、6.7710でクローズ。29日6.77台前半でオープン後、序盤からドル安元高が進行するも、6.76半ば付近では下げ渋り、6.77手前水準まで反転上昇。その後、米国時間にはFOMCの政策金利据え置き決定を受けて、為替相場全般にドル安が進行する動きにつれて6.76台前半まで下落。30日も下げ止まらず、米6月PCEコア価格指数が前月比0.1%低下と、市場予想を下回る内容だったことを受けてドル売りが進行し6.7528でクローズ。31日もドル売り優勢となり下げ幅を拡大し、11時時点では6.74台後半にて推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は27日、4.13台後半でオープン後、30日にかけては4.13台-4.14台で推移。30日の海外時間に本邦当局が為替介入を実施したとの観測が広がるとUSDJPYが急騰。163円付近から5円強、ドル安円高が進行する流れを受けてJPYCNYも4.14台後半から4.27台まで急騰する展開となった。31日11時時点で4.20台にて推移。日銀は政策決定会合にて、政策金利据え置きを公表した。

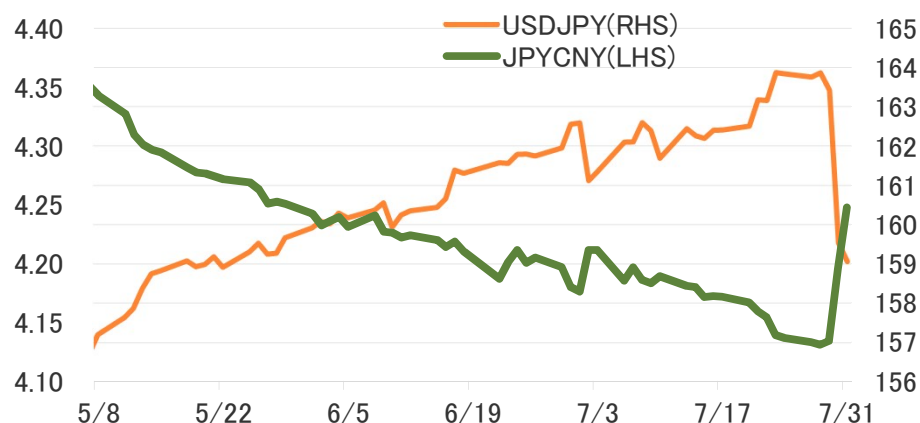
見通し: 主要中銀イベントは通過も、急激な相場変動には留意が必要

- USDCNYは、FOMC公表後にドル売りが進行する流れを受けて、今週後半、2023年2月以来水準となる6.75台まで下落した。来週8月7日には米雇用統計が公表予定。結果次第では今後の米国利上げ織り込みが変化し、相場が上下する可能性があることに加えて、同日に中国貿易関連統計の公表も予定されており、注目が集まる。
- JPYCNYは、30日海外時間帯に為替介入を実施したと見られる動きが入り急騰。日銀の継続的な利上げ期待が高まらない限り、積極的な円買い材料も乏しく円安基調が継続すると見込むが、本邦当局による複数回の為替介入への警戒感が高まっており、急激な相場変動には留意が必要。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



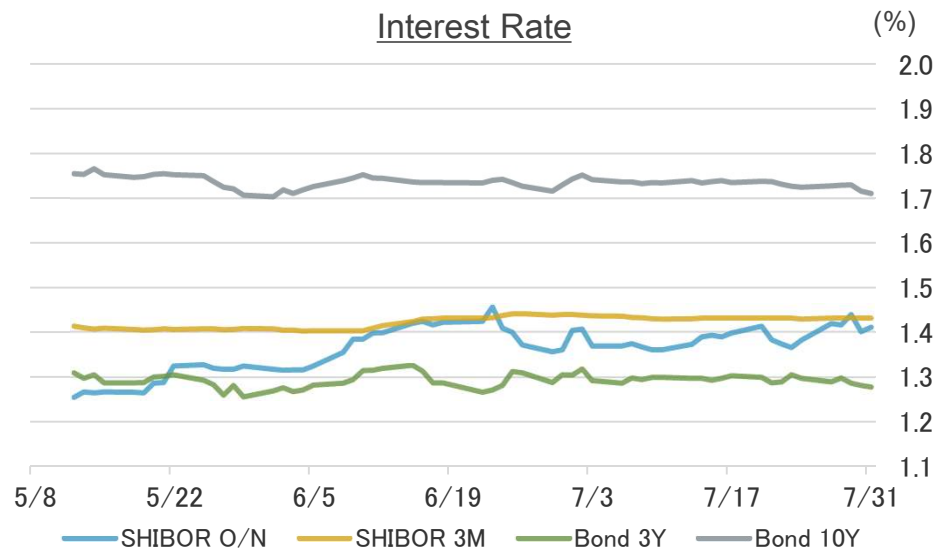
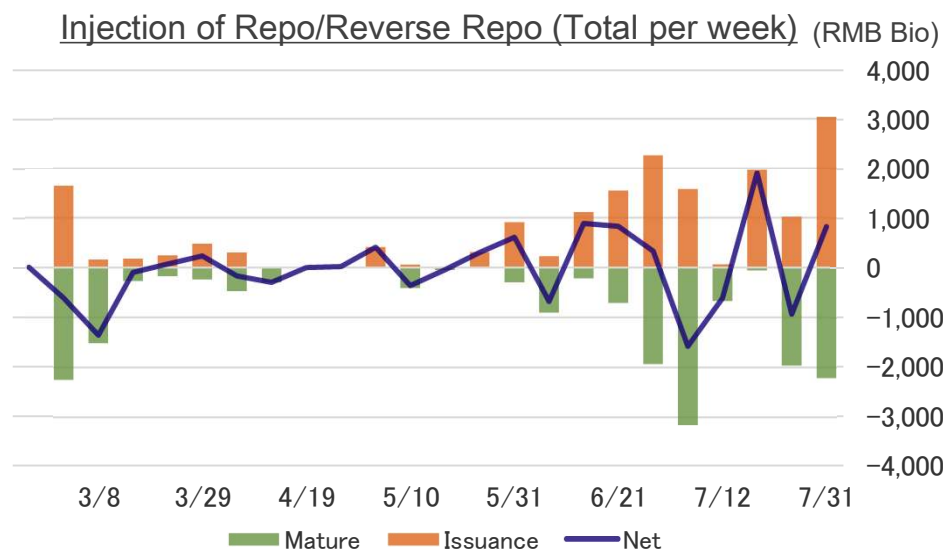
【人民元金利概況】

回顧: 短期市場は資金流動性がタイト化し、O/N金利は一時1.4%台前半まで上昇

- PBOCは7日物リバースレポ及び翌日物リバースレポ(29日～31日実施)を通じて資金供給を実施。27日のMLF 4,000億元の満期到来とネットで4,215億元の資金を供給(今月のMLFに資金供給は24日に実施済み)。
- 短期資金市場は、月末にかけて資金流動性のタイトな状況が継続する中、O/N金利は週半ばにかけて一時1.43%後半まで上昇するも、その後はPBOCによる資金供給等を好感し、1.40%に低下。
- 債券市場は、短期から長期ゾーンにかけて方向感に乏しい展開となった後、30日に中央政治局会議後の公表文にて、財政政策と金融政策の協同による内需促進策を実施する方針が示されたことを受け、一部参加者において金融緩和観測が高まる中、超長期ゾーンを中心に金利低下。2年債利回りは1.26%付近、5年債利回りは1.41%台後半、10年債利回りは1.71%台前半にて推移。

見通し: 金利は低下基調が基本線と見込む

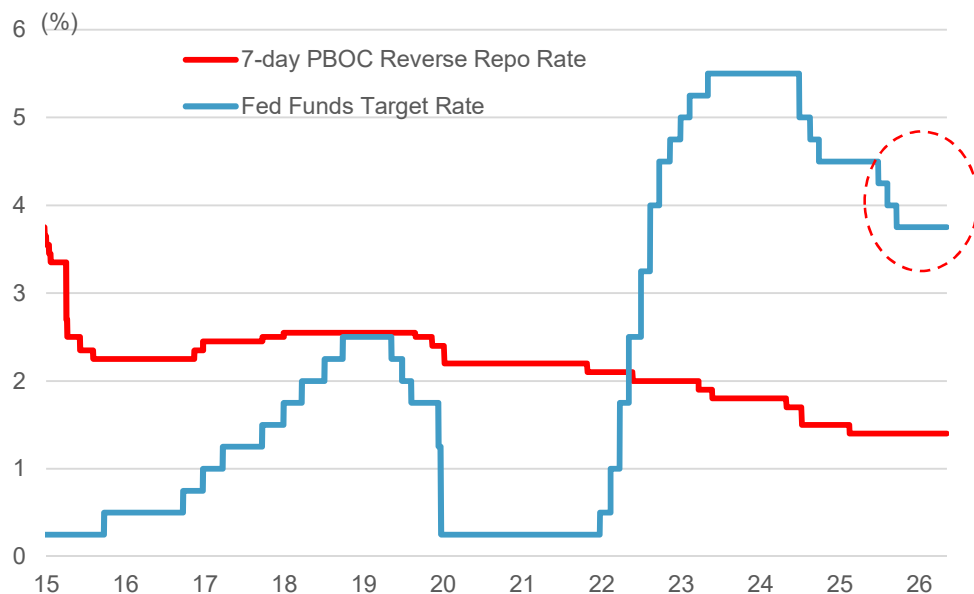
- 短期資金市場では、月末にかけて資金流動性がタイト化しO/N金利が一時上昇する動きがみられた。ただし、PBOCは緩和的な政策スタンスを継続していることから、一段と金利上昇が進む展開は想定しづらいと見込む
- 債券市場では、中国政治局会議後の公表文を受けて一部参加者において金融緩和観測が高まる中、金利低下基調が基本線と想定する。ただしO/Nの値動き次第では、連動して金利上昇する可能性もあり留意したい。



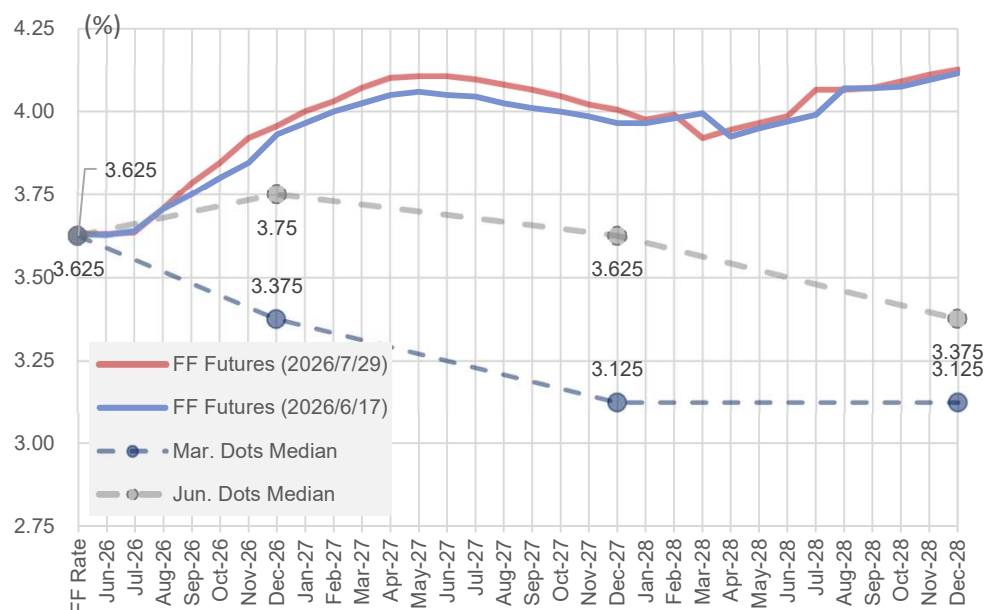
【TOPICS】 米7月FOMCは政策金利据え置きを決定

- 7月28-29日、米連邦公開市場委員会(FOMC)では5会合連続で政策金利3.50%-3.75%据え置くことを、賛成9・反対3で決定した。(反対3名は0.25%の利上げを主張した。)
- FRBは声明文で「インフレ率は委員会が目標とする2%に比べて依然、高い水準にある」と指摘。「中東紛争を一因とする不確実性の高まりにもかかわらず、経済活動は堅調なペースで拡大している。生産性の伸びと設備投資は力強い。雇用の伸びは労働人口の増加に追いついており、失業率はあまり変化していない」とし、前回6月の内容がほぼ踏襲された。
- ウォーシュFRB議長は記者会見にて、FRBがインフレ率を2%目標へ戻す取り組みを緩めることはない、インフレ抑制に取り組む姿勢を表明した一方、FRBによる利上げがインフレ抑制の唯一の手段では無いとの見解も示した。FOMC通過後、市場では9月会合での利上げ観測がやや後退した。
- ウォーシュFRB議長は情報発信改革を進めており、削減が予定されている議長会見について「少なくとも年内は継続する」と述べた。フォワードガイダンス(金融政策の先行きに関する指針)についても縮小する意向を示しており、年明け以降は情報発信が限定的となる可能性がある。

米中政策金利



市場の政策金利織込みとドットチャート



出所: Bloomberg、各種報道

【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
7/27	6.7666	6.7699	6.7625	6.7674	6.7911
7/28	6.7621	6.7733	6.7621	6.7674	6.7928
7/29	6.7700	6.7738	6.7615	6.7655	6.7899
7/30	6.7610	6.7623	6.7503	6.7564	6.7892
7/31	6.7510	6.7530	6.7456	6.7476	6.7894

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
7/27	6.7719	6.7743	6.7630	6.7655	6.7695
7/28	6.7654	6.7737	6.7640	6.7711	6.7683
7/29	6.7711	6.7745	6.7600	6.7605	6.7734
7/30	6.7605	6.7626	6.7440	6.7480	6.7609
7/31	6.7480	6.7518	6.7423	6.7456	6.7460

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	7/27	LOW	HIGH	7/31
ON	1.4180	1.4000	~	1.4380
1M	1.4200	1.4200	~	1.4210
3M	1.4300	1.4300	~	1.4310
6M	1.4500	1.4500	~	1.4515
1Y	1.4800	1.4800	~	1.4810

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	6.7666	6.7738	6.7456	6.7476
100JPY/CNY	4.1380	4.2527	4.1272	4.2479
EUR/CNY	7.7189	7.7777	7.6911	7.7749
HKD/CNY	0.86305	0.86371	0.86025	0.86026
GBP/CNY	9.0385	9.0865	8.9937	9.0749

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	163.76	163.95	157.98	159.53
EUR/USD	1.1379	1.1537	1.1353	1.1528
EUR/JPY	186.35	187.47	182.13	183.91
GBP/USD	1.3335	1.3477	1.3274	1.3466
AUD/USD	0.6989	0.7045	0.6922	0.7027

(Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穗銀行